

中央学院大

制覇

こちらは日本一も初だ!!

明治神宮野球大会 大学の部

地区	順位	学校
東	1	中央学院大
東	2	東亜大
東	3	東国大
東	4	東洋大
東	5	東海大
東	6	東横国大
東	7	東海大
東	8	東洋大
東	9	東国大
東	10	東亜大
中	1	中央学院大
中	2	中央学院大
中	3	中央学院大
中	4	中央学院大
中	5	中央学院大
中	6	中央学院大
中	7	中央学院大
中	8	中央学院大
中	9	中央学院大
中	10	中央学院大
西	1	中央学院大
西	2	中央学院大
西	3	中央学院大
西	4	中央学院大
西	5	中央学院大
西	6	中央学院大
西	7	中央学院大
西	8	中央学院大
西	9	中央学院大
西	10	中央学院大
北	1	中央学院大
北	2	中央学院大
北	3	中央学院大
北	4	中央学院大
北	5	中央学院大
北	6	中央学院大
北	7	中央学院大
北	8	中央学院大
北	9	中央学院大
北	10	中央学院大
南	1	中央学院大
南	2	中央学院大
南	3	中央学院大
南	4	中央学院大
南	5	中央学院大
南	6	中央学院大
南	7	中央学院大
南	8	中央学院大
南	9	中央学院大
南	10	中央学院大



「明るく逆転劇 わっしょい野球」

初の日本への思いが、フライイングとして表れた。中央学院大1点リードの9回一死二、二塁。山崎投手(4年＝千葉英和)が投球口に打ち取ると、ヘンチは併殺を確信。古田(成龍投手)4年一取手(松尾)を先頭に猛タッシュでマウンドへ駆けつけた。明るく一塁セーフ。球審に指示された、懐いてヘンチにさっさと、次打者の右石飛で、

「わっしょい野球」が勝利を呼んだ。最大4点リードも、持ち前の明るさで謙なムードを飾り寄った。1点差まで詰め寄った6回一死満塁で武田(登生)主将(2年＝中央学院)が3点満塁二塁打を放った。一挙に5得点で逆転した。若しみなならもつかなだ栄冠だった。今秋の千葉県大登りリーグ戦は開幕から4戦で1勝3敗、入替替え戦も数勝した武田は思い切った方針転換に出た。「暗くならないでがんばって。明るくいこうという意味で」。明るく「わっしょい野球」を心掛けた。東力(主将)が、最高潮に達した瞬間だった。【回部記者】

4冠ならず

慶大 東京6大学初の年間4冠(春、秋リーグ戦、大学選手権、明治神宮大会)はならなかった。2回までに4点を先制も、4～6回の9失点が痛かった。堀井哲也監督(59)は「ゲームの責任は私にある。途中の失点は、私が試合展開を読めなかったと深く認めた。7回以降、追い上げ、9回も無死一、二塁とするも1点圏かず。ただ、最後まで神高を弗かせた選手たちを「よくここまで頑張ってくれた」とねぎらった。

福井 爽やか笑顔

慶大 9回の攻撃を、福井(登)主将(4年＝大阪桐蔭)は裏の守りがあるとの信じ、防具を着けて見守った。「野球は何が起るかわからないので、最善の準備をしてました。悔しい敗戦も、試合後もは爽やかな笑顔も見せた。卒業後は、社会人野球の名門・トヨタ自動車に入部したい」と誓った。

慶大対中央学院大 初優勝を決めた中央学院大ナインは集合写真で喜びを爆発させる 切り込み写真は(上)上げられる中央学院大・菅原監督(撮影・渡辺桂子)